

# 平成29年度第60回福島県中学校体育大会 バドミントン大会要項

- 1 主催 福島県中学校体育連盟 福島県教育委員会 須賀川市教育委員会  
福島県中学校長会 公益財団法人福島県体育協会  
福島県バドミントン協会
- 2 後援 須賀川市
- 3 主管 県中地区中学校体育連盟
- 4 期日 平成29年7月22日(土)～24日(月)  
22日(土) 公式練習 9:00～13:00 須賀川アリーナ  
監督会 13:30～ 須賀川アリーナ  
開始式 14:30～ 須賀川アリーナ  
23日(日) 公式練習 8:00～  
競技 9:00～ 団体戦(1回戦～決勝)  
個人戦(1～2回戦)  
24日(月) 公式練習 8:00～  
競技 9:00～ 個人戦(3回戦～決勝)  
閉会式 14:00～ 須賀川アリーナ
- 5 会場 須賀川アリーナ(須賀川市牛袋町5)
- 6 参加資格 (1) 福島県中学校体育連盟に加盟の学校に在学し校長が参加を認めた者とする。  
(2) 各地区予選会を通過した一校単位で編成されたチーム、および個人とする。
- 7 引率・監督 (1) 参加生徒の引率・監督は出場校の校長・教員とする。  
(2) 外部コーチについては校長が認めた者とし、所定の様式に従い「コーチ確認書」または「入場許可申請書(個人専用)」を参加申込と同時に提出する。  
ただし、当該校以外の中学校教職員・校長の外部コーチとしてのベンチ入りは認めない。  
(3) 監督は、団体戦・個人戦の出場を問わず監督会には必ず出席する。  
(4) 監督・コーチ(外部コーチを含む)またはマネージャー(出場校の教職員または生徒)についても、本大会が学校管理下にあることを認識し、その品位を保つために服装を整えるとともに、選手の健康管理の把握に努め、大会運営に協力する。
- 8 参加人員 (1) 団体戦  
① 男女とも16チーム。基本各地区2、開催地区3、次年度開催地区3、特別1、推薦1、最大出場枠3。推薦は、前年度総合大会の優勝→準優勝→3位の順。  
② 1チーム 監督1、コーチまたはマネージャー1、選手5～7とする。  
(2) 個人戦  
シングルスは男女とも24名、ダブルスは男女とも24組。基本各地区3、開催地区4、特別3、推薦2、最大出場枠5。推薦は、登録選手の多い2地区にそれぞれ+1。
- 9 競技規則 平成29年度(公財)日本バドミントン協会競技規則ならびに本大会運営規則による。
- 10 競技方法 (1) 団体戦、個人戦ともトーナメント方式により優勝を決定する。なお、団体戦、個人戦とも、東北出場決定戦を行う。  
(2) 団体戦は複2・単1の対抗戦とし、複・単・複の順序で対戦する。並行試合もありえる。なお、同一選手が単と複、及び複と複を兼ねて出場することはできない。  
(3) 団体戦の勝敗の決定は、2点先取とする。

- 11 使用シャトル 水鳥シャトルを使用する。(飛び番号3番を使用する。)
- 12 表彰 (1) 団体戦・個人戦とも、1位～3位に賞状とメダルを授与する。  
(2) 男女とも団体優勝チームには、優勝旗(持ち回り)を授与する。
- 13 参加料 選手1名 1,000円とする。
- 14 参加申込 (1) 各学校は、参加申込書一式、参加料、参加記念章代、プログラム代を地区中体連専門委員長へ一括申し込む。また、必要事項を入力した参加申込書のデータを、地区中体連専門委員長へ6月26日(月)正午必着でメールで送信する。送信先については、地区大会で確認する。  
(2) 各地区中体連専門委員長は、各校からの申込書類ならびに現金を確認の上、県競技部事務局へ提出する。  
(3) 県競技部事務局は、抽選会時に申込書類ならびに現金を集約する。
- 15 宿泊 (1) 大会に参加し宿泊を要する出場校は、適切な危機管理対応(感染症・自然災害等)を確保するため、必ず開催地大会事務局指定の業者に宿泊申込書を提出する。(指定外の宿泊施設の利用は、原則として認めない。)  
(2) 大会役員の配宿は大会事務局、競技役員の配宿は競技事務局で行う。  
(3) 宿泊料金は平成29年度福島県スポーツ団体標準宿泊料金表中学生による。
- 16 その他 (1) 開始式・閉会式には、選手全員が参加することを原則とする。  
(2) プログラムは有料とし、1冊800円で販売する。  
(3) 参加記念章は、1個350円で販売する。  
(4) 東北大会への出場については、団体3チーム、個人シングルス3人、個人ダブルス3組が出場できる。  
(5) 競技上の服装は、上下とも日本バドミントン協会の検定に合格したものを着用する。  
(6) 背面の中央にゼッケンをつけ(サイズは以下の通り。ただし、縦20cm以内、横30cm以内)、学校名および姓を表示すること。同一チームで同姓の選手が出場する場合、名前の1文字目を小さく入れる。
- ↑  
20 cm  
↓

← 30 cm →
- (7) ベンチ 入ることができる者は以下の通りとする。  
団体戦：監督1名、マネージャー(またはコーチ)1名、エントリー選手7名まで 計9名まで。  
個人戦：監督を基本とした2名まで。監督以外で入れる者は、  
①団体戦に登録してあるマネージャーまたはコーチ、選手。  
②個人戦に登録してある選手。  
③出場校の校長が承認、実行委員会より入場許可を得た者(個人戦入場許可)。ただし、複数校は兼ねられない。
- (8) 試合中の水分補給については、主審の許可を得てから行うこと。ただし、容器はスクイズボトル、または蓋付き容器(ペットボトル不可)とする。
- (9) 団体戦の選手変更および監督・コーチまたはマネージャーの変更については、監督会議の開始前に書面によって大会事務局(総務)に申し出て、監督会議で承認を得なければならない。
- (10) 大会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ実施する。大会参加者は、健康保険証を持参することが望ましい。
- 17 連絡先 県・開催地区専門部委員長 畠 元章(明健中：024-935-1071)